

## みなみのうお座

夏の大三角、天の川、いて座にささり座…「夏の星座」と言われるにぎやかな場所から東の空へ目を向けると、静かに輝く秋の星々があります。その中で、南の低い空に輝く最も明るい星が1等星フォーマルハウトです。フォーマルハウトは、みなみのうお座をつくる星です。周りに明るい星がないので、とても見つけやすく、観望会で「秋の1等星を探してみよう。」と投げかけると、お子様でも必ず見つけることができます。言い方を変えれば、秋の星座の中でもっとも場所の見当をつけやすい星座と言えます。一方、フォーマルハウト以外の星々は光度4等から5等です。暗い星が多く、サツマイモのような形のみなみのうお座を結ぶのは少々難しいでしょう。

### フォーマルハウト

みなみのうお座のα星「フォーマルハウト」は1等星で、地球からの距離はおよそ25光年です。フォーマルハウトの意味は「魚の口」。星座絵を見ると口を開けた逆さまの魚が描かれていて、みずがめ座から流れ落ちる水を口で受け止めているように見えます。水平線にばつんと輝く星ですので、昔の人たちは分かりやすい目印として生活に役立っていたようです。このため、日本各地に和名が残っています。

- ★フナボシ(静岡県焼津市)…南に船を進めるときの目印になるため、このように呼ばれたようです。
- ★ヒトツボサン(静岡県駿東郡)…南にぼつりと輝くフォーマルハウトらしいですね。
- ★アキボシ(岩手県)…南の空にこの星が見えると、厳しい冬が近い。冬支度を知らせる星として伝えられたようです。



## 今月の見どころ星どころ 皆既月食



文・浜松市天文会  
喜澤 俊輔



11月8日(火)に皆既月食が起こります。部分月食のはじめから見る事ができます。皆既月食の見どころは、部分食時の地球の影です。影の縁が丸く、地球が丸いことが見て取れます。また、皆既食時には月面が暗赤色に染まります。地球大気を通過した赤い波長が月に届くからです。最大食は午後8時頃です。ぜひ、家族や友人、大切な人と、あるいはじっくりと一人で、地球と月の天体ショーを楽しみましょう。

さらに、今回は月食中に、天王星が月に隠される天王星食が見られます。浜松では、皆既月食中の20時35分頃、暗赤色の月の左側から天王星が徐々に隠れはじめます。そして、21時20分頃、部分月食の月が欠けた、右下側の部分から再び天王星が現れはじめます。ただし、天王星は肉眼では見ることは難しいです。



浜松での皆既食時刻	
16:41 月の出	19:59 食の最大
18:09 部分食の開始	20:42 皆既食終わり
19:17 皆既食の開始	21:49 部分食終わり

## 星空クイズ

皆既月食のときには月が暗赤色になるのでブラッドムーン(Blood Moon)とも言われます。(天文学的な用語ではありません) 満月が血のような赤みをおびているからです。さて、最近〇〇ムーンという言葉をよく聞くようになりました。アメリカの先住民ネイティブアメリカンはその月の満月に、時にちなんだ名前をつけることで季節を把握していたようです。では、今月、11月の満月は何と名付けていたのでしょうか。

- A. ハーベストムーン
- B. コールドムーン
- C. ビーバームーン

答えは中面へ

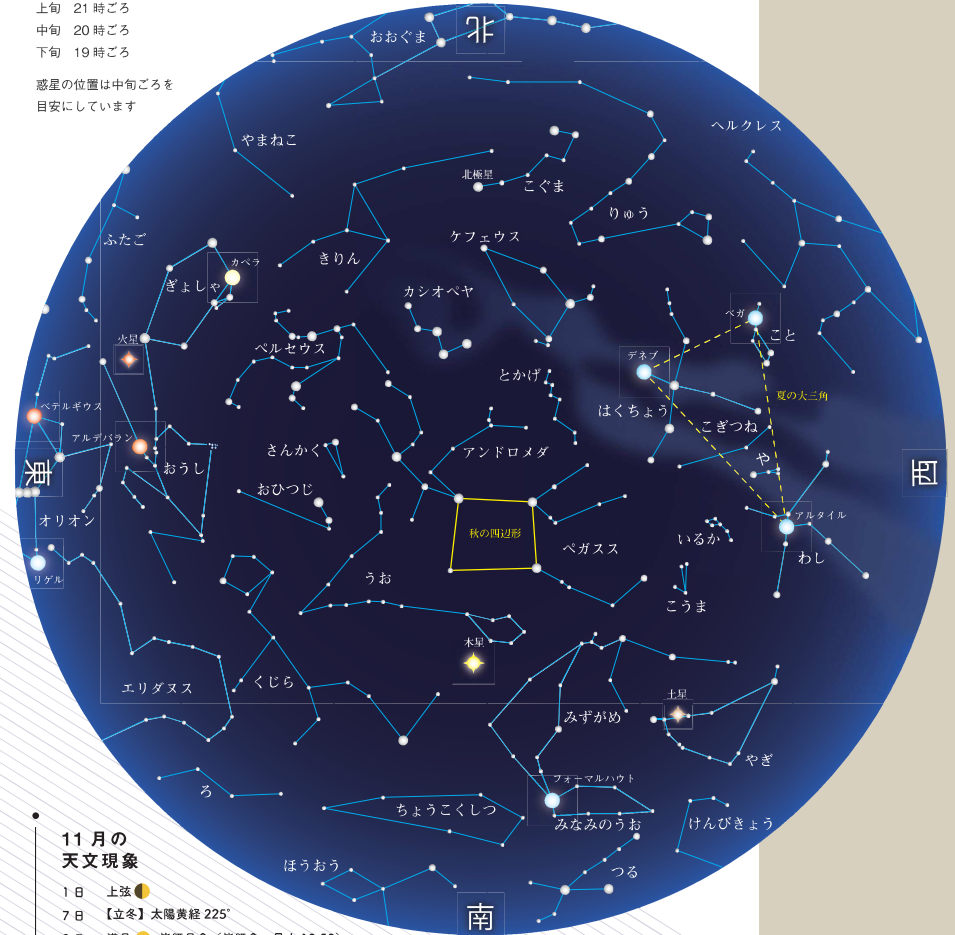
# 星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

### 2022年11月

- 上旬 21時ごろ
- 中旬 20時ごろ
- 下旬 19時ごろ

惑星の位置は中旬ごろを目安にしています



### 11月の天文現象

- 1日 上弦
- 7日 【立冬】太陽黄経 225°
- 8日 満月 ● 皆既月食(皆既食の最大 19:59)  
天王星食(潜入開始 20:36)
- 9日 天王星が衝(+5.6等おひつじ座)
- 16日 下弦
- 22日 【小雪】太陽黄経 240°
- 24日 新月 ●
- 30日 上弦

9月の「中秋の名月」、10月の「後の月(のちのつき)」に続いて今月8日は「皆既月食」です。月に親しみ、月をめぐる3か月ですね。楽しみです。浜松で次に皆既月食が見られるのは2025年の9月、3年後です。ぜひ、8日に見たいですね。天気になあれ!



上の星図は、空にかざして実際の方向と合わせてご覧ください。





# 1 浜松市天文台

催しはすべて事前予約制となります。浜松市天文台ウェブサイトよりお申し込みください。

詳細・お申し込みは浜松市天文台ウェブサイトをご覧ください。  
 新型コロナウイルス感染症防止のため、人数制限を行っております。各イベントは事情により中止になる可能性もございます。  
 天文台ウェブサイトまたは Facebook で随時お知らせいたします。

ウェブサイトはこちら



## イベント情報

※参加費は全て無料です

### 11/5・12・19・26 星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望。  
 星座の配置や結び方などを解説します。

- 時間 18:30～20:30
- 会場 天文台屋上階
- 申し込み 開催3日前の13時から受付 (30分ごと先着10組)



天候不良中止



### 11/6 太陽・昼間の星 観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観望します。

- 時間 14:00～16:00
- 会場 天文台屋上階
- 申し込み 11/2(水)13時から受付 (30分ごと先着10組)



天候不良中止

### 11/19 天文ミニ講座

星座と当夜の見どころについて、星のソムリエがやさしくお話しします。

- 時間 17:30～18:20
- 会場 2F 講座室
- 申し込み 11/16(水)13時から受付 (先着5組)



天候不良中止

裏面のクイズの答え：C

## vol.7 予想中！天王星食

星空のエピソード

天王星が月に隠されます。なんと皆既月食中に！私は特に天王星の「出」の方が楽しみにで、大望遠鏡を覗いた黒色の月の表面からターコイズブルーの天王星が手品のようにフワッと出現する様子を何度も思い浮かべています。見られるのはたった1分間。ああ見たいなあ。見られるかなあ。皆既月食も楽しみつつ、天王星の食も楽しむには、倍率の違う2台の望遠鏡がどうしても必要。どの望遠鏡にしようか。望遠鏡の倍率は何倍だろうか。じゃあ接眼レンズは…と、こんなふうにくれから起こる天文イベントについて考えている時間が、とても楽しいです。(文：鈴木謙誌)



# 2 浜松科学館

## プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「生解説プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



生解説プラネタリウム  
**幻のうなぎ座**  
 今年88星座制定100周年。その歴史や幻の星座をご紹介します。  
 14:30～15:25  
 土日祝は11:40～12:35も放映

大型映像  
**水の惑星**  
 いのちあふれる海。裏面地球から星空を望み、星の世界に水を探す旅。  
 15:50～16:35  
 土日祝は13:15～14:00も上映

キッズプラネタリウム  
**こんやお星さまとおたんじょうびの星座**  
 12歳以下のお子様は、はままつ館  
 キッズプラネタリウム  
**こんやお星さまとおたんじょうびの星座**  
 [さそり座] 10/23～11/20 [しし座] 11/22～  
 土日祝・長期休暇期間のみ  
 10:30～11:10

高校生以上限定  
 夜の科学館 特別放映  
**「STAR FLIGHT season II」**  
 11月は「モルティエ編」

**STAR FLIGHT season II**  
 11/18  
 17:50～18:50

## “食” 欲の秋？

“食”と言っても、食べ物のお話ではありません。月の“食”についてのお話です。11月8日に月が地球の影で完全に隠される「皆既月食」が起こります。古代の人々は、月食を不吉なものと考えていたようです。例えば、インド神話では月食はラーフという悪魔に月が食べられることで起こると考えられていました。

ある時、ラーフが神々の持ち物で、飲めば死ぬことがなくなるという「アムリタ」という飲み物を盗み、飲んでしまいました。その様子を目撃した太陽と月は神様に報告します。すると、神様は怒ってラーフの首を切り落としてしまいました。しかし、不死の飲み物「アムリタ」を飲んでしまったラーフは死ぬことはありません。ラーフの首は天に昇り、告げ口したことを逆恨みして太陽と月を飲み込んで、日食や月食を起こす悪い星になると伝えられています。



## column

同じように北欧神話ではハティという天空の狼が月を捕らえるため、月食が起こるとされています。一方で、紀元前280年頃、ギリシャのアリストアルコスは、月食のときに月に映る地球の影の大きさから、月の直径が地球の約1/3であると推定しました。つまり、その時代のギリシャでは、月食は悪魔や狼の仕業ではないことがわかっていたと考えられます。

今回の食の最大は20時頃です。早めに夕食をとって、じっくりと観望しましょう。  
 (文：浜松科学館 天文チーム)

### 参考資料

- ・「アジアの怪物話—東アジア・太平洋地域の星と宇宙の神話・伝説」(監修 海部 宣男/万葉舎)

浜松での月食の見え方 (2022年11月8日)

